

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践において、「転倒骨折 寝たきり」と言う高齢者の寝たきり主要因である転倒を回避するあまり、転倒リスクのある利用者に対し安全面を優先し、権利擁護という面で不適切な行動制限が発生している。	認知症の方への権利擁護の観点から、ご家族と共に現在の生活におけるリスクや弊害について共有認識を持ち、身体拘束をしないケアの実践を行う	現在の利用者様の生活における転倒リスクや身体拘束を実施した際の弊害を再度、話し合い、転倒リスクの軽減が行える介護方法を考え、家族と共有認識を図りながら、身体拘束をしないケアを行っていく	1ヶ月
2	10	運営に関する利用者・家族等意見の反映において、苦情相談窓口を設け、利用者や家族等が意見・要望を伝えられる環境を設けているが、積極的に意見・要望の収集ができていない	家族が意見・要望を言いがたいことを理解し、事業所より積極的に意見・要望が収集できる環境を作る	面と向かって要望・意見を言いがたいことを理解し、玄関に意見箱を設けたり、アンケートを実施するなど積極的に家族意見の収集に向けた働きかけを行う。	1ヶ月
3	14	人権教育・啓発活動において、入職時及び年1回、研修を実施しているが、研修後は意識が高まっているが、その意識が継続できていない	利用者の人権尊重についての見識を深めていく為にも、さまざまな視点から、人権教育・啓発活動に積極的に取り組み、職員間の意識を高めていく	毎月の認知症ケア研修のテーマを人権教育・啓発活動を含んだ内容にすることにより、さまざまな視点から見識を深め、人権教育・啓発活動への意識が継続するようにする	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。